

次年度へ向けて3学期にできることを考える②

2月号では、学校の取組について、生徒指導の成果と課題の視点から分析、改善することについてお伝えしました。3月号では、自分自身の取組を生徒指導の視点から振り返ってみましょう。

生徒指導の目的

生徒指導は、**児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支える**と同時に、**自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支える**ことを目的とする。生徒指導提要PI3



生徒指導の「目的」を達成するためには、**児童生徒一人一人が**
※「自己指導能力」を身に付けることが重要です。

※ 深い自己理解に基づき、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標達成のため、自発的、自律的かつ他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力。

自己指導能力の獲得を支える際に留意する実践上の視点を通して、自分自身の取組を振り返ってみましょう。

視点	チェック項目(取組例)
<p>自己存在感の感受</p> <p>「自分も一人の人間として大切にされている」という自己存在感を、児童生徒が実感する。</p>	<p><input type="checkbox"/> 学級の全員に役割がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 役割に応じて、取組を認める評価や声かけをしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 授業において、どの生徒にもわかる授業、おもしろい授業になるよう創意工夫をしている。等</p>
<p>共感的な人間関係の育成</p> <p>支持的(児童生徒の発達を支える働きかけ)で創造的な学級・ホームルームづくりをする。</p>	<p><input type="checkbox"/> 一人一人の発言に傾聴したり、児童生徒同士がお互いの話を肯定的に受け止める聞き方を指導したりしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 児童生徒同士が認め合う活動を設定している。</p> <p><input type="checkbox"/> 授業において、児童生徒の思いをつなげることで、全員で学びが深まっていることを実感させている。</p> <p><input type="checkbox"/> 発表や課題提出において、様々な考えに「なぜそう思ったのか」など、お互いの考えについて関心を抱き合う授業づくりを意識している。等</p>
<p>自己決定の場の提供</p> <p>自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等の体験の場をつくる。</p>	<p><input type="checkbox"/> 学級に必要な決まり等について話し合いで決める時間を確保している。</p> <p><input type="checkbox"/> 教師からの指示や提案ではなく、児童生徒間で対話や議論をすることができる環境や機会をつくっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 授業において、児童生徒の問いから課題を設定している。等</p>
<p>安全・安心な風土の醸成</p> <p>お互いの個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活が送れるような風土を、教職員の支援の下で、児童生徒自らがつくり上げるようにする。</p>	<p><input type="checkbox"/> いじめや暴力行為など、他者の人格や人権をおとしめる言動を決して許さないことを伝えている。</p> <p><input type="checkbox"/> 児童生徒への配慮に欠けた言動、暴言や体罰等は決してしない。</p> <p><input type="checkbox"/> 授業において、児童生徒の個性が尊重され、安全かつ安心して学習できるよう配慮している。等</p>

自己指導能力の獲得を支えるための4つの視点を持つことで、生徒指導が学級経営の中で自然と機能し、児童生徒にとってより良い学級へとつながっていきます。



1年間の取組の振り返りについて、昨年度のお役立ち情報(3月号)でも、「学校・学級づくり」と「子供の状況把握の共有」の視点で御紹介しています。御活用ください。

